

～地域の課題は地域で解決！私たち対人援助職も地域の一員です！～

コミュニティベースド・ソーシャルワーク 実践者養成研修

目指せ！地域共生社会！

自身の働いている施設や事業所等のある地域に目を向けたことはありますか？

少子・高齢化、人口減少という社会問題など様々な要因で、これまで地域を支えてきた各種のコミュニティが弱まり、今まで地域住民活動だけで対応できていた地域課題への対応ができなくなってきました。

私たち福祉専門職が業務の為だけではなく、その力を地域で発揮することが求められています。全国では、特養で「男性料理教室・子ども料理教室」や「放課後学習塾」を実施したり、デイサービスにある畑でとれた芋で、地域住民と一緒に「焼き芋パーティー」をしたり、施設利用者が小中学生の下校時見守りをしたり、法人同士で連携して企画を組んだり、様々な取り組みがあります。地域課題への対応の方法に正解はありません。

本研修では、地域を基盤（コミュニティベース）としたソーシャルワークの知識・技術を獲得することを目的とし、その後、研修終了者が今まで以上に地域へ関心と興味をもって頂き、地域に出ていくことの後押しとなることを目標としています。ぜひ、地域力への一歩を！！

1. 対象者：施設・事業所、NPO法人などの社会福祉士等専門的知識を持った職員
※地域包括支援センター及び社会福祉協議会職員は対象となりません
※社会福祉協議会職員でもサービス事業所職員は対象です
※全日程に参加可能な方

2. 定員：50名

3. 受講費：無料

4. 場所：広島県健康福祉センター ※基礎編・実践編で会場が異なります
(広島県広島市南区皆実町 1-6-29)



〈 基礎編 〉

平成 30 年 1 月 24 日 (水) ・ 25 日 (木)

時間 / 9:30 ~ 16:30

場所 / 広島県健康福祉センター 2 階 総合研修室

〈 実践編 〉

平成 30 年 2 月 21 日 (水) ・ 22 日 (木)

時間 / 9:30 ~ 16:30

場所 / 広島県健康福祉センター 7 階 中会議室



主催：公益社団法人 広島県社会福祉士会

5. 申込方法・申込先

- ・申し込みについては、広島県社会福祉士会事務局へメール又はFAXにて申し込みください。

〈 申込み・問合せ先 〉

公益社団法人 広島県社会福祉士会事務局

〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2 広島県社会福祉会館内

(TEL) 082-254-3019

(FAX) 082-254-3018

(メール) kensyu@htc.or.jp

(HP) <http://hacsw.jp>

6. 申込期限：2018年1月12日（金）

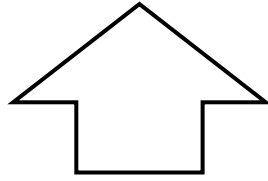
7. 受講者の決定と通知

- ・申込確認後、受講通知（受講票）もしくは受講不可通知を送付します。

8. その他

- ・各会場ともに開始 30 分前受付予定です。
- ・会場は駐車場の確保ができませんので、公共交通機関の利用、もしくは近隣の有料駐車場を利用ください。
- ・受講申込書に記載された個人情報、受講票の送付、研修受付、その他研修の実施上必要な範囲に限り使用することとします。

研修プログラム		講師予定者 (変更になる場合もあります)	
基礎編	一 日 目	介護予防・日常生活支援総合事業とコミュニティ・ソーシャルワーク	介護老人保健施設かなえ 施設長 小山 峰志
		医療連携とコミュニティ・ソーシャルワーク	独立行政法人国立病院機構福山医療センター 地域医療連携室 MSW 木梨 貴博
		コミュニティ・ソーシャルワークの展開 ～専門職として地域で何ができるかを考える～	福山リハビリテーション病院 地域連携部 課長 赤山 亮
	二 日 目	コミュニティ・ソーシャルワークの展開 ～地域にひらく展開方法～	府中町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 榎山 亮
		できるコミュニティ・アセスメント	NPO 法人 地域の絆 代表理事 中島 康晴
		できるコミュニティ・アセスメント ～課題説明～	NPO 法人 地域の絆 代表理事 中島 康晴
実践編	一 日 目	できるコミュニティ・アセスメント ～参加者課題によるグループワーク～	NPO 法人 地域の絆 代表理事 中島 康晴
		コミュニティ・ソーシャルワークにおけるチームアプローチの展開～ネットワークの構築の視点～	福山市西南部地域包括支援センター 管理者 茨木 孝幸
		コミュニティ・ソーシャルワークの視点による地域アセスメントの展開①～事例活用によるグループワーク～	府中町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 榎山 亮
	二 日 目	コミュニティ・ソーシャルワークの視点による地域アセスメントの展開②～事例活用によるグループワーク～	高取北・安西地域包括支援センター 管理者 黒木 勇治
		コミュニティ・ソーシャルワークの今後に向けて (総括) ～実践事例発表～	介護老人保健施設かなえ 施設長 小山 峰志



FAX 送信表

送信先 FAX 082-254-3018 広島県社会福祉士会事務局

「H29 コミュニティベースド・ソーシャルワーク実践者養成研修」参加申込書

氏名		所属先	
所在地			
職種		福祉業務経験年数	年
連絡先	TEL : FAX :		

〈 参考 〉平成 28 年度開催 アンケートより一部抜粋

- いろいろと刺激になる内容でした。まずは一歩前へ出る勇気を持ち、課題をもとに外にでて行きたいと思います。
- 自分のキャパがオーバーしないようにできることから始める。形ができてくると地域が受け入れてくれる。行動を起こすことが大切だと思いました。
- 人手や時間が無いと思いこんでいるだけかもしれない、行動を始めてみたら案外うまくいくのか？協力者が現れるのか？不安でもあるがやってみるしかないと思う。
- 自分が専門職である前に地域住民で、その視点も大切にしたいと思いました。

研修での学びは人それぞれです。ぜひ、その力を地域に活かしてください！！